

- ① 問1 1972年 問2 ウ
- 問3 (1) 中継ぎ 貿易
(2) 薩摩 藩
- 問4 ア
- 問5 日米安全保障 条約
- 問6 正距方位 国法
- 問7 ① タイ
② インドネシア
③ フィリピン
- 問8 ASEAN
- 問9 東経 90 度
- 問10 サトウキビ

- ② 問1 農地改革
- 問2 エ
- 問3 人物 豊臣秀吉
政策 太閤検地
- 問4 オ
- 問5 班田収授法
- 問6 ア 問7 イ
- 問8 屯田兵
- 問9 ³番目 G ⁷番目 A

《完全解答》

- ③ 問1 (1) 日朝修好条規
(2) 征韓論
(3) ア … エ
- 問2 イ 問3 ア

《完全解答》

- 問4 甲午農民戦争(東学党の乱)
- 問5 与謝野晶子
- 問6 (1) 小村寿太郎
(2) 関税自主権の回復
- 問7 エ
- 問8 提唱国アメリカが議会の反対で参加しなかったこととドイツやソ連が参加できなかったから。
- 《50字以内・横書き》

- ④ 問1 A 直接 B 学校
- 問2 エ
- 問3 オンブズパーソン又はオンブズマン(オンブズ)
- 問4 (1) 地方分権一括法
(2) イ
- 問5 ア

- ⑤ 問1 (1) エ (2) 領域
- 問2 エ 問3 イ
- 問4 カ
- 問5 12 海里
- 問6 イギリス フランス
- 問7 冷戦

《完全解答》

大枠 2点×11=22点

細枠 1点×38=38点

※詳細は解説参照

出身 中学	中学校	受験 番号	番 氏名
----------	-----	----------	---------

得点
60

1

- 【解答】 問1 1972(年) (1点) 問2 ウ (1点)
 問3 (1) 中継ぎ(貿易) (1点) (2) 薩摩(藩) (1点)
 問4 ア (1点) 問5 日米安全保障(条約) (1点)
 問6 正距方位(図法) (1点)
 問7 ①タイ(王国) ②インドネシア(共和国) ③フィリピン(共和国) (各1点)
 問8 ASEAN (2点) 問9 (東経) 90 (度) (1点)
 問10 サトウキビ (1点)

【解説】

- 問1 1972年は、沖縄返還、日中国交正常化など社会科に関する重要項目が多数ある。
- 問2 太平洋戦争の末期に日本で唯一地上戦が行われたことで知られる沖縄は、長い米軍統治の間に、朝鮮戦争やベトナム戦争の米軍の補給基地としての役割を果たし、沖縄県民に大きな負担をもたらした。在日米軍基地問題は民主党政権以前から全国的な関心を呼んでいる。
- 問3 (1) 日本、朝鮮半島、中国(明)、東南アジア諸国などとの国際貿易の中継点として重要であった。
 (2) 薩摩藩は、1609年に琉球を征服して、検地を行い厳しい支配を行った。貿易では黒砂糖・絹織物・海産物などが取引された。
- 問4 沖縄は熱帯気候とは違い、平均気温は比較的高いが、夏冬の差は10度以上ある。降水も初夏から秋にかけて梅雨や台風の影響を受けて多くなる。グラフのイは気温の高い夏に極端に降水量が小さいことから地中海性気候の特徴を表わし、ウのグラフは年中気温が高く降水量も多いことから熱帯気候の特徴を表わす。
- 問5 1952年に結ばれた条約が何度かの改定を経て今日に至っている。
- 問6 航空路線図としてよく知られる。ほかに時差の計算などでメルカトル図法もよく用いられるので知っておくと良い。
- 問7 ニュースでも良く出る国名・首都名である。
 ①はバンコク、②はジャカルタ、③はマニラ。
- 問8 東南アジア諸国連合のこと。
- 問9 1時間あたりの経度差は15度。3時間あたりの経度差45度となる。したがって東経135度から45度を引くと東経90度となる。このBの経線の下にある国がすべて日本と3時間の時差があるということではない。
- 問10 沖縄の特産品として知られる黒砂糖の原料である。

- 【解答】 問1 農地改革（1点） 問2 エ（1点）
 問3 （人物）豊臣秀吉 （政策）太閤検地 （各1点）
 問4 オ（1点） 問5 班田収授法（2点） 問6 ア（1点）
 問7 イ（1点） 問8 屯田兵（1点）
 問9 （3番目）G （7番目）A ≪完全解答（2点）≫

【解説】

- 問1 1946年から実施された農業の民主的改革。地主小作関係の変革と自作農の創設が目的。
- 問2 寄生地主制は崩壊し、農村の民主化がはかられた。
- 問3 太閤とは豊臣秀吉のこと。秀吉は検地や刀狩により封建的身分制を強化した。
- 問4 6歳以上の男子は2段、女子はその3分の2が口分田として与えられた。
- 問5 律令制下の土地制度。
- 問6 この政策を地租改正という。
- 問7 Eの文章は、743年に定められた墾田永年私財法である。イは国風文化。それ以外は、天平文化のものである。
- 問8 黒田清隆の建議で1874年設置。平時は農業を営み、戦時は軍隊に編成。
- 問9 C → E → **G** → B → D → F → **A**
 Gは11世紀後半以後に成立した、寄進地系荘園についての説明である。

- 【解答】問1 (1) 日朝修好条規 (1点) (2) 征韓論 (1点)
 (3) ア・エ 《完全解答 (2点)》
- 問2 イ (1点) 問3 ア (1点)
- 問4 甲午農民戦争 (東学党の乱) (1点) 問5 与謝野晶子 (1点)
- 問6 (1) 小村寿太郎 (1点) (2) 関税自主権の回復 (2点)
- 問7 エ (1点)
- 問8 提唱国アメリカが、議会の反対で参加しなかったことと、ドイツやソ連が参加できなかったから。(2点)

【解説】

- 問1 (1) 1876年に江華府で結ばれた条約。日本全権は黒田清隆。
 (2) 新政府が朝鮮政府に対して開国を要求したが拒否されたため、武力行使した。
 (3) 板垣退助・西郷隆盛らが主張した。
- 問2 ア・エは、五箇条の御誓文。ウは、十七条の憲法。
- 問3 大日本帝国憲法は、君主中心の政治を行っているドイツ (プロイセン) の憲法を参考にした。
- 問4 この農民反乱鎮圧のため朝鮮政府が清国に出兵を要請すると、日本も天津条約を口実に出兵した。そして、豊島沖の海戦で日清戦争が始まった。
- 問5 与謝野晶子が女性の立場から戦争に対する心情を雑誌『明星』に寄せた詩。
- 問6 治外法権の撤廃を実現させたのは、陸奥宗光。
- 問7 1915年に第二次大隈内閣が中華民国の袁世凱政府に対して提出したもの。孫文は辛亥革命後、臨時大總統となった人物。
- 問8 国際連盟は、アメリカ大統領ウィルソンの14カ条提案にもとづき、ヴェルサイユ条約で設立が決定。国際平和の維持、国際協力の促進を目的にしたもの。大国の不参加によって、その基盤が当初から十分なものではなかった。

【解答】

- 問1 A 直接 B 学校 (各2点) 問2 エ (1点)
 問3 オンブズパーソン又はオンブズマン(オンブズも正解) (1点)
 問4 (1) 地方分権一括法 (2点) (2) イ (1点)
 問5 ア (1点)

【解説】

- 問1 A 直接的に住民が政治に参加することにより、より良い生活を目指すことを目的としている。
 B イギリスの政治学者であるジェームス・ブライスのことばが有名。
 問2 国政選挙での被選挙権は十分理解しているが、地方公共団体の被選挙権は忘れやすい。
 この問題では、(3)の選挙権で答えは三つに絞られる。
 問3 スウェーデンで始まった制度で、行政活動を調査したり、苦情などを処理する制度。
 問4 1999年に住民が直接かかわる政策を地方公共団体が独自に行えるようにした法律である。
 この法律により、国からの機関委任事務が廃止された。
 問5 国からの地方交付税交付金が減り、また、経済不況により地方税収も減っており、地方債に頼らなければならない状況である。

【解答】

- 問1 (1)A エ (1点) (2)B 領域 (2点)
 問2 エ (1点) 問3 イ (1点) 問4 カ (1点)
 問5 12海里 (1点)
 問6 イギリス・フランス(順不同可) 《完全解答2点》
 問7 冷戦 (1点)

【解説】

- 問1 2007年の加盟国は192か国
 問2 国際連盟の本部はスイスのジュネーブに置かれていたが、国際連合はアメリカのニューヨークに本部が置かれている。
 問3 国際社会は主権国家により構成されていることを理解しよう。
 問4 最近のニュースなどで話題になっている時事問題からの出題。
 問5 領海12海里と排他的経済水域200海里は重要。
 問6 常任理事国のうち、アメリカ・ロシア・中国はEU加盟国ではない。
 問7 実際に砲火は交えないが、米ソの激しい対立のこと。